

予算決算委員会会議録

1. 開催年月日

平成29年 9月21日 開会 9時57分 閉会 13時20分

2. 開催場所

全員協議会室

3. 出席委員名

宮地俊則	三輪順治	妹尾文彦	多賀信祥
柳原英子	山下憲雄	細羽敏彦	西村慎次郎
荒木謙二	柳井一徳	惣台己吉	三宅文雄
坊野公治	藤原浩司	上野安是	簀戸利昭
大滝文則	佐藤豊	森本典夫	

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 西田久志

(2) 説明員

副市長	三宅生一	総務部長	渡邊聡司
市民生活部長	北村宗則	健康福祉部長	山田正人
建設経済部長	三宅道雄	水道部長	妹尾福登
病院事務部長	野崎正広	総務部次長	妹尾光朗
市民生活部次長	北村容子	健康福祉部次長	佐藤和也
建設経済部次長	橋本良啓	水道部次長	谷本悦久
市民生活部参与	藤井護	芳井支所長	三宅孝一
美星支所長	川上邦和	健康福祉部参与	宮良人
地域創生参与	猪原慎太郎	水道部参与	田中伸廣
会計管理者	山下浩道	監査委員事務局長	山本高史
病院事務部次長	田平雅裕	財政課長	唐木英規
税務課長	吉本泰人	総務課長補佐	片井啓介
福祉課長補佐	伊達卓生	上水道課長補佐	井岡和浩
下水道課長補佐	藤井義信	都市建設課主幹	西本勝志
市民課戸籍住民係長	池田真弓		

教 育 次 長 大 舌 勲

(3) 事務局職員

事 務 局 長 川 田 純 士 事 務 局 次 長 岡 田 光 雄

6. 傍聴者

(1) 一 般 0名

(2) 報 道 0名

7. 発言の概要

委員長（宮地俊則君） 皆さんおはようございます。

若干早いですが、おそろいですので、ただいまより予算決算委員会を開会いたします。

〈認定第9号 平成28年度井原市大倉財産区会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第10号 平成28年度井原市東水砂財産区会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第 1 1 号 平成 2 8 年度井原市宇戸財産区会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第 2 号 平成 2 8 年度井原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第 4 号 平成 2 8 年度井原市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第5号 平成28年度井原市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第7号 平成28年度井原市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

委員（森本典夫君） 372、373ページの関係でお尋ねします。

介護認定審査会費で96回やって2,962件ということの報告がありましたが、平成28年度末現在の要介護認定者数が3,152人というふうになっていますが、190人の差というのはどういうことなんでしょうか。

健康福祉部参与（宮 良人君） 最後のところをもう一回お願いいたします。

委員（森本典夫君） 年度末現在の要介護認定者数が3,152人というふうになっています。それで、審査したのが2,962件ということで、190件の差がありますが、この差はどこからくる差でしょうか。

健康福祉部参与（宮 良人君） これにつきましては、一つはタイミングの問題と申しま

しょうか、要介護認定の認定期間は12カ月あるわけですが、その前年と当該年度とのほごまで実際には前年には介護申請をしていますが、期間の関係で認定審査が減ったというものが主なものでございます。

委員（森本典夫君） 主なものって、ほかにもあるんかどうかわかりませんが、190人というのは、年度初めか年度末で残った、審査にはかからんというのがそこへ来ているんだという意味で、どっちの部分がそこに190が来ているんでしょうか。年度の初めか、年度の終わりか。

健康福祉部参与（宮 良人君） 濟いません、若干時間をいただきたいと思います。

委員（森本典夫君） もう一点。2,962件審査をしたわけですが、その中で、年間を通して認定度が、例えば介護4が5になったとか、4が3になったとかという異動、ほかのこともそうですが、その異動した件数というのはつかんでおられますか。1年間を通して。

健康福祉部参与（宮 良人君） まず、1点目の認定数と実数との差でございますが、先ほども認定期間のそれぞれの年度の誤差で差が出るというふうに申しましたが、これについては、認定期間が24カ月、2年間の方もいらっしゃいます。この関係で当該年度認定を受けなくても済む人がいらっしゃるということでございます。

それから、介護度が変わった方についてでございますが、昨年度の申請の中で、変更申請の方が368件ございます。その内訳については把握できておりませんが、368件の方が変更申請して、そのうちの方の介護度が変わっているということでございます。

委員（森本典夫君） 368件の申請があつて、結果は何ぼですか。368全部が変わったということではないんじゃないでしょうか、それはつかんでないんですか。

健康福祉部参与（宮 良人君） 把握しておりません。

委員（森本典夫君） 把握してないとなればどうしようもありませんね。

終わります。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第13号 平成28年度井原市病院事業会計決算について〉

〈歳入歳出全般〉

委員（森本典夫君） 病院事業はなかなか大変な中ですが、今後の見通しとして好転するような見通しがあるのかどうなのか、あればこういう条件があるので好転するというような見通しをお聞かせいただきたいと思います。

病院事務次長（田平雅裕君） 今後の見通しということでお尋ねでございますが、現在も厳しい経営状況でございます。

今後、救急医療、それから小児医療の充実、さらには今年度から実施しております検診、人間ドック、そういったところも充実をしてみたいと考えております。さらには、医薬品等の購入価格の広域化、大型医療機器の有効活用、そういったさまざまな点を鋭意努力いたしまして、頑張っていきたいと考えておりますが、なかなか好転というところ、人件費比率の占める割合も高いわけでございますが、厳しい状況ではございますが、スタッフ一同一生懸命頑張っていきたいというふうに考えております。

委員（森本典夫君） 頑張ってくださいと思います。

28年度で後発薬の購入は全体の何%ぐらいになりますか。

病院事務次長（田平雅裕君） しばらくお時間をいただきたいと思います。

委員長（宮地俊則君） ただいまの後発薬のパーセンテージは後ほどお答えできればそれで結構ということでございますので、議事は進行いたしたいと思います。よろしく願いいたします。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第3号 平成28年度井原市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

病院事務次長（田平雅裕君） 先ほど森本委員さんのほうからお尋ねのありました市民病院の平成28年度の後発医薬品の使用割合についてお答えを申し上げます。

使用割合につきましては、29.5%となっております。

〈認定第6号 平成28年度井原市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

委員（森本典夫君） 346、347ページの使用料の中の公共下水道使用料の不納欠損額の詳細を教えてください。

水道部次長（谷本悦久君） 不納欠損額の詳細についてのお尋ねであります。

11人の方に不納欠損を行っておりまして、その内訳の事由でありますけれども、居所不明が5人、それから生活困窮の方が4人、死亡の方が2人ということであります。

委員（森本典夫君） それの中で、一番多いのは金額的には幾らでしょうか。

水道部次長（谷本悦久君） 金額の一番多い方の額であります。2万7,972円でございます。

委員（森本典夫君） ほかの質問ですが、28年度末で、全体計画に対する進捗率は何%になりますか。

水道部次長（谷本悦久君） 全体計画に対する進捗率のお尋ねであります。

28年度末で全体計画が井原で784ヘクタール、それから芳井が85ヘクタールであります。井原につきましては28年度末で整備面積が678.5ヘクタールで進捗率が86.5%であります。芳井につきましては、整備率が55ヘクタールで、進捗率は64.

7%となっております。全体ですが、84.4%の進捗率となっております。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第8号 平成28年度井原市美星地区畑地かんがい給水事業特別会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第12号 平成28年度井原市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 可決及び認定〉

〈認定第14号 平成28年度井原市工業用水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 可決及び認定〉

〈議案第45号 平成29年度井原市一般会計補正予算（第3号）〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第46号平成29年度井原市産業団地開発事業特別会計予算〉

〈歳入歳出全般〉

委員（大滝文則君） いよいよ産業団地に係る予算が計上される可能性があるとする、

これからいよいよ事業に入っていくわけですが、その関係で何点か質問をさせていただきます。

先般の説明で、約60人の地権者及び代表者がいらっしゃるということで、そのうち28名の出席ということでございましたけれども、今後交渉が大変なことになると思うんですけれども、地権者で案内漏れということはないでしょうか。その確認を一つ。

それから、出席、欠席の確認はされているでしょうか。その2点についてまずお尋ねします。

地域創生参与（猪原慎太郎君） まず、地権者の人の案内漏れというものはございません。

それから、2点目の説明会への出欠の確認をしているかということにつきましては、確認はいたしておりません。

委員（大滝文則君） 土地の収用というのは非常に難しい交渉があると思うんですけれども、交渉が困難なときに、今後非常に困難でなかなか難しいというときに、土地収用法等に係る行政代執行に該当する事案とこれはなるのでしょうか。そのあたりは、どういうふうに把握されていますか。

地域創生参与（猪原慎太郎君） 産業団地部分につきましては、土地収用法の適用を受けない事業ということになっております。

委員（大滝文則君） もう一点、二点済みませんが、最近の傾向として、企業誘致の場合はオーダーメイド方式というのが主流だと思うんですけれども、先般の説明では産業団地造成後の誘致と説明をされてましたけれども、この造成事業を先にするメリットと、先ほど言いましたオーダーメイド方式等のメリット、デメリットについてはどのように分析されていますか。

地域創生参与（猪原慎太郎君） 市で団地開発をするメリットでございますけれども、今まで企業誘致活動を行って来る中で、四季が丘団地につきましては住宅団地と併設しているということでなかなか難しかった。それ以外に、要は市としての既製品がなかったことから、なかなか誘致活動が進まなかったということで、メリットとすれば、既にできているといますか、開発している既製品があるということがメリットであろうかと思っております。

それから、オーダーメイド方式につきましては、企業さんのほうのニーズにダイレクトに応えられるといったことでメリットはあるのかなというふうに思っております。

オーダーメイド方式のデメリットとすれば、企業さんのほうから要望があって、このたびの適地調査の残りの11カ所の中から選定することになると思いますが、要はまだ用地の

めども何も立っていない段階で、オーダーメイド方式に取り組むということですので、達成見込みというところでは、少し問題があるのかなというふうに思っております。

委員長（宮地俊則君） 産業団地そのものについてのデメリットはという問いでございましたので、その観点から答弁をお願いします。

地域創生参与（猪原慎太郎君） 市で行います産業団地のデメリットといたしますのは、特にはないものと思っております。

委員（大滝文則君） 先般も言いましたけれども、ほぼ完成に近い時期に企業誘致ができるとデメリットはないと思いますけど、それが塩漬け等々になってくるとデメリットになると感じるんですけども、そのあたりはかなり確証があって企業誘致ができるというふうな想定をされているということで理解すればいいですか。

地域創生参与（猪原慎太郎君） 塩漬けとならないように、全力を挙げて企業誘致に努めていきたいと思っております。

委員（大滝文則君） 最後ですけれども、先般も同僚議員から質問がありましたけれども、進入路を稲木方面にもつないだほうが利便性が高いのではないかという話がありましたけれども、県道の上稲木東江原線のほうを福山方面からのアクセスのほうが便利がいいんじゃないかという話がありましたけれども、この設計料の予算が計上されているわけですけれども、今後そういう部分において、設計の変更等々は考えられるのか、また可能なのかをお知らせいただきたいと思えます。

地域創生参与（猪原慎太郎君） 詳細設計の段階で、団地からいきますと北への進入路については検討はすることになると思えますけれども、現状、現在の計画で申し上げますと、平場の団地部分と南側の高低差が約20メートルございますので、技術的には難しいのではないかと考えております。

委員（三宅文雄君） 事業費が11億円という説明がありましたけれども、その内訳はどうなっていますか。

地域創生参与（猪原慎太郎君） まず、用地補償が約3億円、それから測量含めた設計業務が約1億円、工事請負費が約7億円、以上でございます。

委員（森本典夫君） 前回の全協の説明の中で、この場所を決めた一つの理由として、近くに家屋があり人が住んでないというような話がありまして、私の質問で一番近いのでどのくらい離れていますかというふうな質問をさせていただいて、それのお答えをいただきましたが、この計画地の中には家屋はありますか。

地域創生参与（猪原慎太郎君） 2軒ございます。

委員（森本典夫君） その方は説明会には来てないという説明だったのではないかと思います。

ますが、そうでしょうか。

地域創生参与（猪原慎太郎君） 家屋の所有者の2軒の方は、説明会には出席しておられません。

委員（森本典夫君） その後のその2軒の方の動きが何かありますか。

地域創生参与（猪原慎太郎君） 前向きな回答をいただいております。

委員（森本典夫君） その2軒両方から前向きな回答をいついただいておりますか。

地域創生参与（猪原慎太郎君） はっきりと何月何日というのは今覚えておりませんが、8月中旬に前向きなお考えをいただいております。

委員（簀戸利昭君） 11億円もかけて事業をされるわけですが、それと販売単価のことについてお尋ねをいたします。

地域創生参与（猪原慎太郎君） 今現在、販売単価というものは決めておりません。詳細設計ができれば上がることによって、概算の金額が精査されるものと思っております。その時点で販売単価については考えていくことになるかと思っております。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（宮地俊則君） 以上で付託案件の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長にご一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

委員長（宮地俊則君） 閉会に当たり、執行部で何かございましたらお願いいたします。

副市長（三宅生一君） 終わりに当たり、皆様方に一言お礼を申し上げたいというふうに思います。

昨日から2日間にわたりまして、皆様方には慎重に審議をいただきました。なおかつ適切なご決定を賜りましたこと、厚くお礼を申し上げたいと思います。

さて、この機、少し本市の財政状況を申し述べたいというふうに思います。

平成28年度決算に基づく再生健全化指標を見ますと、標準財政規模に占める市債、市の借金の残高が県下15市の最も少ないところとなっております。そういったことなどから、将来負担比率を初め、3指標、3つの指標がゼロを示しております。本市はこの点において、健全な財政状況を保っていると言えると思っております。これは、井原市を将来担ってくれる子供たちに残してないということにもなるんだろうというふうにも思っております。

しかし、一方では、経常収支比率が93.6%、昨年に比べまして3.2ポイント悪化しております。財政の硬直化が進行しているという結果だろうと思っております。

今後とも、社会情勢の変化、あるいは国、県の動向市民ニーズ、これを的確に捉え、財政の節度を保ちながら、健全な財政運営を堅持していきたいというふうに考えております。そのためにも、議員各位にご理解とご協力をいただきながら、職員が一丸となって英知を結集し、来るべき井原市第7次総合計画の幕あけにふさわしい財政出動を行い、自治体間競争を勝ち抜いていきたいというふうに思っております。

結びになりますが、秋は夕暮れというふうにも言われております。秋もいよいよ本番を迎えるわけですが、議員の皆様方には、それぞれの秋を満喫していただきますようよろしくお祈りを申し上げまして、2日間にわたる皆様方のご意見等を踏まえ、また市としても頑張ったいと思います。2日間にわたりありがとうございました。

委員長（宮地俊則君） 議長、何かございましたらお願いします。

〈議長あいさつ〉

委員長（宮地俊則君） それでは、以上をもって予算決算委員会を閉会いたします。皆様大変ご苦労さまでした。